

# 一般質問

～ 14人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

## P 9 高澤 幹 議員

- 共生社会実現のまち 渋川市
  - 1 渋Payの活用について
  - 2 金融教育について
  - 3 ケアラーバー制度について
  - 4 障がい者支援について

## P 10 角田 喜和 議員

- マイナンバーカードについて
- 渋川市における文化財保全対策について
- 市民の健康と暮らしについて

## P 11 田村 なつ江 議員

- 市民の暮らしに安全安心を
  - 1 新庁舎建設について
  - 2 市営住宅
  - 3 育都に向けた保育所、幼稚園
  - 4 国保あかぎ診療所

## P 12 高野 佳美 議員

- 誰もが幸せを感じ未来に希望を持てるまちづくり
  - 1 市の人口の現状と今後のまちづくり
  - 2 未来を担う子どもたちの教育環境
  - 3 まちの活性化につなげる市民活動の拠点づくり

## P 13 加藤 幸子 議員

- 渋川市コミュニティ広場等整備補助金に係る住民監査請求について
- ハラスメントに係る職員アンケート調査結果について
- 市長臨時会見について

## P 14 田中 猛夫 議員

- 市政運営について
  - 1 道路・学校施設の維持管理について
  - 2 臨時会の招集について
  - 3 個人情報の保護について

## P 15 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
  - 1 自治会のあり方
  - 2 終活の介護施設支援

## P 9 中澤 功史 議員

- 持続可能な渋川を創ろう
  - 1 居場所づくりについて
  - 2 2040年問題を見据えた市政について

## P 10 山内 崇仁 議員

- 渋川の魅力を発信
  - 1 教育環境
  - 2 観光振興

## P 11 後藤 弘一 議員

- 教育活動の充実
  - 1 情報モラルの育成について
  - 2 支援が必要な児童生徒への対応について
  - 3 小規模校対策について

## P 12 福島 丘泰 議員

- 笑顔あふれる渋川のために
  - 1 自治会の負担軽減
  - 2 J R 渋川駅前広場の利活用について
  - 3 子育て支援

## P 13 茂木 弘伸 議員

- 住みよいまちづくり
  - 1 子育て支援のための保育環境について
  - 2 県道高崎渋川線石原地区拡幅について
  - 3 都市計画道路金井新町高源地線ほか1路線について

## P 14 埴田 裕之 議員

- 渋川市民のための行政へ
  - 1 農業支援
  - 2 各事業等の実施状況
  - 3 庁用バス
  - 4 庁内資料の管理

## P 15 田邊 寛治 議員

- 教育事業の検証と成果について
- 外から見た渋川市と広報戦略について

議会中継や一般質問の詳しい内容は、渋川市議会ホームページから  
議会放映システムや会議録検索システムをご覧ください。



# 一般質問

※ケアリーバー：社会的養護のケアを離れた子ども・若者



高澤 幹

## 共生社会実現のまち 渋川市

### Payの活用

**質問** 決済額の1%が「こども夢基金」に積み立てられるが、今後の活用方針は。

**情報防災部長** 本年度は各小中学校の貸出用図書を購入費に充てましたが、来年度以降も将来世代のために有効に活用していきます。

**質問** 市民が公平に日常的に利用できるようにする取り組みは。

**情報防災部長** 市の事業を通じて多くの方にPayを知ってもらい、利用者が気軽に利用できる環境づくりが重要と考えます。

### 金融教育

**質問** 育都渋川市の特色ある教育の一つとして、独自の金融教育を推進する考えは。

**教育長** 小中学校での系統的な学びを大切に、家庭との連携を深めたり、消費生活センターの出前講座を活用したりしていきます。

### ケアリーバー制度

**質問** 児童養護施設退所後の子どもたちが、育った渋川市に住み続けることができるよう、支援する

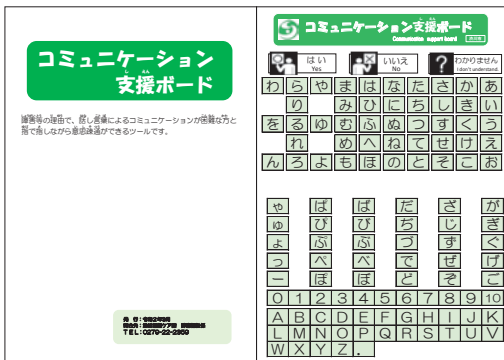
考えは。

**育都推進部長** 県とも連携し、経済的支援や人的サポートなど、児童の自立に向けた重要な時期をどう支えるか考えてまいります。

### 障がい者支援

**質問** 誰一人取り残さない渋川市として、災害時の障がい者に対する対応は。

**情報防災部長** 情報伝達では、電話やFAXで緊急情報等をお知らせするサービスを行い、避難所では、コミュニケーションボード等を使用し、意思疎通を図ります。



渋川市のコミュニケーションボード

※芸術の森構想：昭和61年1月に策定した、市全体を「芸術の森」に見立て、野外彫刻を設置し、芸術作品が日常の一部として存在する文化の香り高いまちづくりの構想

※2040年問題：少子化による急速な人口減少と高齢者人口がピークに達する2040年に直面すると考えられている問題の総称



中澤 功史

## 持続可能な渋川を創ろう

### 居場所づくりについて

**質問** 新美術館の使命・役割について、芸術の森構想における位置づけと関連付けて説明を求める。

**教育部長** 「芸術の森」の拠点として、人々がつながり・ひろがることに重点を置いた、市民の誇りとなるような施設を目指します。

**質問** 移動式ユニバーサルシートを用意して医療的ケア児とその家族の居場所をつくる考えはあるか。

**市長** 難病の子どもを抱える家族がさまざまな場所や行事に外出できるように、支援を行っていきます。

**質問** 渋川の居場所を有機的に結びつけて関係人口を増やす政策について、具体的な考えはあるか。

**総合戦略部長** 地域への愛着を高めることや、市の魅力の発信や発掘にも力を入れ、シティブランドの確立に向け取り組んでいきます。

### 2040年問題を見据えた市政について

**質問** 若者から高齢者まで市民が継続的に地域活動にかかわるための仕組みづくりや支援に関する市

の取り組みと今後の見通しは。

**総合戦略部長** 市が、まちを支える地域団体や地元企業に対し、財源や人材を支援し共に協力し合える仕組みづくりを進めていきます。

**質問** 市の実情の把握や目指すべき未来像とその実現方法を共有する「地域の未来予測」を整理し、2040年問題に迅速に取り組む予定はあるか。

**総合戦略部長** 人口減少問題を誰もが「わが事」としてとらえ、長期的な視点で未来戦略を考えていくための検討を進めていきます。



新美術館のロゴマーク



角田 喜和

## ヒメギフチョウ「絶滅危機」 対策を急げ

**質問** 関東では赤城山にしか生息しない県指定天然記念物、ヒメギフチョウの卵が今年は93個しか確認できず、絶滅の危機にある。成虫の羽化数を下支えするため一定期間の累代飼育が必要と考えるが、

**教育部長** 県の許可が必要であり、また、市では専門の職員・設備がなく責任ある累代飼育の実施は困難です。県直営で取り組んでもらえるよう要望書を提出しています。

**質問** 幼虫の食草であるウスバサイシンの増殖は喫緊の課題。シカの被害も含め、その対策は。

**教育部長** 種を採り栽培していますが時間が必要です。シカ対策は現在の対策に加え、新たな獣害防止柵を冬になる前に設置します。

**質問** 市が保険者である国民健康保険において、マイナンバーカードに保険証機能をひも付けした被保険者数は。また、ひも付け情報に誤りが無いか本人が確認可能か。

**育都推進部長** 令和5年7月の状況では、保険証の機能をひも付けている方は、9098人です。

**情報防災部長** 保険証情報の確認はスマートフォンによりご本人でできますが、不慣れな方は市の窓口で確認のお手伝いをします。

**質問** 市は国民健康保険の被保険者に保険証を届ける義務がある。マイナ保険証は5年ごとに更新が必要となるが、更新漏れで無保険者扱いにはならないのか。

**情報防災部長** 国はマイナ保険証を保有していない方すべてに、申請によらず資格確認書を交付する方針としていることから、無保険扱いにはならないと考えます。



ヒメギフチョウの産卵と産み付けられた卵

## 教育環境

**質問** 小規模特認校制度の今後の方向性をどのように考えるか。

**教育長** 小規模校の特色を生かした魅力ある学校の在り方を研究していくとともに、小中学校の適正配置検討委員会の中でも検討していきます。

**質問** 昨年度からコミュニティスクールの導入されたが、どのような効果があったか。

**教育部長** 「地域とともにある学校」づくりにより学校運営協議会が主体的にかかわり、実情に合った活動が進められ、地域連携の深まりや地域の活性化等があげられます。

**質問** 「誰一人取り残さない安心して学べる学校・園」についての考え方は。

**教育長** 学ぶ楽しさを味わえる授業や、誰もが自信と誇りを持てる教育活動の充実、地域とともにある学校づくり、安心して学べる教育環境づくりが大切と考えます。

**質問** スマートフォンを活用した



山内 崇仁

## 渋川市の魅力を発信

渋川市独自の特色ある観光プロモーションシステムの構築ができれば。

**産業観光部長** グーグル検索や旅行サイトの口コミ評価で高評価を得られるよう情報発信を行い、観光客に分かりやすく、目にとまるホームページづくりに努めます。

**質問** あじサイクルの貸出場所を増やす等の拡充の考えは。

**産業観光部長** 利用者ニーズを把握するとともに、電動自転車のバッテリー充電、維持管理費用等の問題を総合的に研究していきます。



あじサイクルと祖母島駅



# 一般質問



田村なつ江

## 市民の暮らしに安全安心を

### 新庁舎建設について

**質問** 本庁舎の耐震基準を満たしていない部分は倒壊または崩壊する危険性があるとのことだが、新庁舎の建設は進んでいない。どのように考えているのか。

**総務部長** DXの進展やコロナ禍における働き方の変化などの影響を考慮し、基本方針を見直します。

**質問** 大きな地震で倒壊するかもしれない本庁舎東側。新庁舎建設の検討を進めていただきたい。市長の見解を求めます。

**市長** 既定の基本方針を抜本的に見直し、必要な庁舎の規模や在り方について研究をしていきます。

### 市営住宅について

**質問** 高齢化社会の対応としてバリアフリー化などの対策は。

**建設交通部長** これまでに、共用階段や浴室、トイレなどに手すりを設置しました。

### 育都に向けた保育所・幼稚園

**質問** 保育需要が高まっているが、保育士の処遇改善を行っているか。

**育都推進部長** 保育士の給与を引



老朽化した市役所本庁舎

き上げるため、上乗せをした運営費を各施設に交付しています。

**質問** 園児数が減少している公立幼稚園の今後の対応は。

**育都推進部長** 施設を設置しているそれぞれの地域の実情に応じたさまざまな方法を検討します。

### 国保あかぎ診療所

**質問** あかぎ診療所の再開に向けて今後の取り組みは。

**育都推進部長** 地域の医療機関として、一日も早く、持続可能な利活用を図ることができるよう、しっかりと取り組んでまいります。



後藤 弘一

## 教育活動の充実

### 情報モラルの育成

**質問** インターネットリテラシーの周知をどのように行っているか。

**教育長** 学校では、授業や外部講師を招いた特別授業を行うなど繰り返し指導しています。また、子どもたちだけでなく、保護者への周知も大切と考えます。

**質問** 生成AIの活用の考えは。

**教育長** 便利でさまざまな教育活動に有効だと考える一方、活用上の課題や危険性もあり、適切に活用できる力の育成が子どもたちにも教師にも必要であると考えます。

### 支援が必要な児童生徒への対応

**質問** 職員定数確保の実態は。

**教育部長** 市内小中学校においては、授業を担う教職員の定数は満たしている状況です。補助者をあてる場合は、すぐに対象者が見つからない場合もあります。

**質問** 会計年度任用職員の職種と確保状況は。

**教育部長** 特別支援教育支援員やスタディアシスタント、ウォームアップティチャー、複式解消非常

勤講師などがあります。2学期始業式時点では確保できております。

### 小規模校対策

**質問** 複式学級の現状と対応は。

**教育部長** 小野上小学校に複式学級があります。小規模な学校における教育活動の一層の活性化を図るために、伊香保小と小野上小を小規模特認校と定めています。

**質問** 来年度に向けての対応は。

**教育部長** 複式解消非常勤講師のさらなる効果的な活用について研究していく一方で、改善点は県へも要望を伝えていきたいと考えます。



小規模校の授業風景



高野 佳美

## 未来に希望を持てるまちづくり

### 市の現状と今後のまちづくり

**質問** 欧州最低水準の出生率だったスウェーデンは、「出生率の低下は、個人ではなく社会構造にある。個人の自由を認めつつすべての子どもを対象とした支援を社会全体で行うべき」とする政策で、高出生率国となった。人口減少社会の中、市はどのように考え、どのようなビジョンを持ち市政運営を進めていくのか。

**総合戦略部長** 公共交通と連携したコンパクトシティ、女性活躍や共生社会の推進、限りある資源の有効活用など、人口減少社会に対応し持続可能なまちづくりの方策について早急に検討していきます。**未来を担う子どもたちの教育環境**  
**質問** 経済的余裕がない家庭の子どもたちが、バウチャーと呼ばれる利用券を使い、塾や習い事、やってみたいことに挑戦できる事業を行っている県がある。さまざまな状況に置かれた子どもたちに教育格差が生じぬよう、渋川市ではどのような取り組みがあるか。



誰もが「やってみたい」をかなえられる渋川へ

### 教育部長

本市では就学援助費を支給したり、個別の支援を必要とする児童生徒へは特別支援教育支援員等のさまざまな職種の教職員を配置したりしています。

### まちの活性化につなげる市民活動の拠点づくり

**質問** 市民活動の拠点として市の遊休施設を利用する考えは。

**市長** 人口減少が進む中、まちの活力維持のために遊休施設の活用は重要なことです。市民と協働して遊休施設を活用し、まちの活力の維持につなげていきます。



福島 丘泰

## 笑顔あふれる渋川のために

### 自治会の負担軽減

**質問** 自治会長を対象に、6月に行ったアンケート結果については。

### 市民環境部長

自治会活動を行う上での課題や、市が自治会に依頼する業務に対して負担や必要と感じる項目等を確認しました。

**質問** 持続可能な自治会運営に向け、今後どのように全庁を挙げた見直しをするのか。

### 総合戦略部長

自治会の現状や意見を伺いながら、市から依頼している業務の効率化、簡素化に向けた取り組みを進め、自治会の負担軽減に全庁を挙げて取り組みます。

### 渋川駅前広場の利活用について

**質問** ふるさと応援寄付金事業を使った、イベント実施団体の負担軽減につながる助成制度などの方策については。

### 情報防災部長

ふるさと応援寄付金を活用したクラウドファンディングにより、迅速な事業執行が期待されるため活用を検討します。

### 子育て支援

**質問** 市内で最も古い第四保育所



二階の高まる公立保育所  
老朽化が心配される第四保育所

と第五保育所の今後については。  
**育都推進部長** 公立施設の役割や民間施設の特長を踏まえるとともに、新制度に取り組む国の動向にも注視しながら検討を進めます。  
**質問** 渋川の発展には南部開発が重要。地元が要望している、防災公園と第四保育所の古巻公民館隣りへの移転建設については。  
**市長** 渋川市の南部開発において、老朽化が進んでいる第四保育所の施設整備は、重要な要素の一つです。今後もしっかりと検討を進めてまいります。



# 一般質問



加藤 幸子

## 中立・公正な

### 第三者委員会の設置を

**質問** 津久田第三自治会の看板設置補助金をめぐり、住民から提出

された監査請求に基づき監査が実施され、市は補助金の返還を求めべきとの勧告を受けたと聞く。市の補助金交付と再発防止策についての考えは。

**市長** 監査委員の勧告を尊重し、補助金の返還を求めました。また、自治会の運営が民主的で公正に行われるよう、指導を行います。今後、規則や要綱等を厳正に判断し、適正な公費の支出に努めます。

**質問** 市が実施したアンケートの結果、市議からのハラスメントを職員の9・7%(56人)が受けたと回答。具体的にどのような被害を受けているのか。今後の対策は。

**総務部長** 主に、理不尽な要求、威圧的な発言、意に沿わない対応へのどう喝、執務室内への無断立ち入り、酌の強要などです。

**市長** 職員が安心して職務に専念できるよう議会において必要な対策を講じていただきたいと思います。

### 市長臨時会見について

**質問** 7月7日の市長臨時会見で

発表した固定資産情報等の流出の案件について、市議会党派の創生、党市議団から、第三者委員会を設置・調査し、市民に報告を求める要望書を市長へ提出した。この要望に対する市長の今後の対応は。

**市長** 3党派から第三者による調査委員会設置の要望を受けました。今後、要望を受け、弁護士などの学識経験者による委員会を設置し、情報提供の背景も含め早急に調査を行ってまいります。



酌の強要もハラスメント



茂木 弘伸

## 住みよいまちづくり

### 子育て支援のための保育環境

**質問** 保育士の人材不足につながる

厳しい労働環境について認識は。  
**育都推進部長** 人材不足や給与の低さが課題であり、保育士の待遇等を改善することにより、保育の質が向上されると考えます。

**質問** 公立保育所より民間保育所の方が保育士の給与が安いと聞くが、市独自の改善の考えは。

**育都推進部長** まずは人材確保により保育士の環境改善を進めます。  
**市長** 処遇改善のため市ができることにしっかりと取り組みます。

**質問** 適正配置に当たり、民間活力の活用が重要と考えるが。

**育都推進部長** 柔軟で特色のある保育を実施する民間施設との連携等により、保育施設等を適正に配置するための検討を進めます。

**県道高渋線石原地区拡幅について**  
**質問** 事業の進ちょく状況と今年度、来年度の工程は。

**建設交通部長** 令和4年度から今年度にかけて用地測量・用地調査、電線共同溝設計を行っています。



拡幅が待たれる県道高渋線石原地区

令和6年度は、用地交渉を予定しています。

**質問** 用地買収金額、範囲等は。  
**建設交通部長** 用地買収金額は年度内くらいに示せる見込みです。範囲は、整備区間全域とし、そのうちの数件を行う予定です。

**質問** 市役所南側の市道(県道高渋線から法務局、諏訪木公会堂から東京電力の間)の道路計画は。  
**建設交通部長** 現段階では、工事開始時期は未定です。今後、費用や事業効果を確認し検討していきます。



田中 猛夫

## 施設の維持管理と 情報漏えいの責任

**質問** 令和5年度予算に計上のない八幡愛宕線道路改良工事および市道6-6188号線(分郷八崎・八崎地内)舗装復旧工事の事業実施上の課題と完了予定年度は。

**建設交通部長** 八幡愛宕線は事業実施に未同意の地権者がおり完了予定年度は未定ですが、継続して事業実施に取り組んでいきます。市道6-6188号線は、水路の老朽化も課題となっており、舗装工事に併せて適切な時期に実施をしてまいります。

**質問** 橘北小学校の外壁は老朽化により大変危険な状態だが、外壁の大規模修繕工事の予定は。

**教育部長** 実施年度につきましては、具体的には決まっております。他の学校の状況も考慮し、危険な箇所から、早めに行います。

**市長支援者への個人情報提供**  
**質問** 個人情報の漏えいに関し市職員が法令違反により告訴された。市長は、個人情報提供はすべて市職員ではなく市長が支援者に提供したとの記者会見を行ったが、記者会



水路工事と併せて実施される  
舗装復旧工事

見の発言は虚偽ではなかったのか。  
**市長** 情報提供は、数々の違法行為を行っている人物の調査を行い、市への告発を求めてきた人と相互に情報共有を目的に私が行ったもので、虚偽ではありません。

**質問** 個人情報提供は、いかなる理由があっても、第三者に提供してはならない。市長の道義的責任は。

**市長** 森林法違反、地方税法違反などを行う人物の違法行為により市に不利益が生じないよう責任を果たし、一方で市民の情報は責任を持ちしっかりと守っていきます。



埴田 裕之

## 渋川市民のための行政へ

### 農業支援

**質問** 技能実習生やドローンの普及について、本市独自の支援は。

**産業観光部長** 従事者の高齢化や担い手不足の解消につながることから、国や県の動向を注視し、市としての支援を検討していきます。

### 庁用バス

**質問** 総務部と教育部で計8台のバスを所有している。台数を削減し民間委託を増やす考えはあるか。

**総務部長** 庁用バスは運転手の高齢化等の諸課題もあるため、委託も含めた在り方の検討をします。

**教育部長** 支援バスは特色ある教育環境の一つであるため当分の間現状維持しつつ、検討します。

### 庁内資料の管理

**質問** 市民の固定資産評価証明書を市長自ら第三者へ流出させたとのことだが、個人情報保護法・地方税法に抵触する。調査のためなら法律違反を犯してもいいのか。

**市長** 数々の違法行為を行っている人物の告発を市に要求してきた人との情報共有であり、法律に抵

触するという認識はありません。

**質問** 公印使用記録簿や庁内起案書、市民からの上申書等が流出した。市長が外部へ漏らしたものは違法行為を行った人物の不法行為に関する情報のみです。すべて私が外部関係者に提供しました。

**質問** 個人情報等の漏えいについて、市長の今後の対応と責任は。  
**市長** あたかも犯罪を犯したような言い方は職員も含め人権の侵害にあたります。また、今後について、私から申すことはありません。

○個人情報の保護に関する法律	
	(平成十五年五月三十日) (法律第五十七号)
個人情報の保護に関する法律をここに公布する。	
個人情報の保護に関する法律	
目次	
第一章	総則(第一条-第三条)
第二章	国及び地方公共団体の責務等(第四条-第六条)
第三章	個人情報の保護に関する施策等
第一节	個人情報の保護に関する基本方針(第七条)
第二节	国の施策(第八条-第十一条)
第三节	地方公共団体の施策(第十二条-第十四条)
第四节	国及び地方公共団体の協力(第十五条)
第四章	個人情報取扱事業者等の義務等
第一节	総則(第十六条)
第二节	個人情報取扱事業者及び個人関連情報取扱事業者の義務(第十七条-第四十条)
第三节	仮名加工情報取扱事業者等の義務(第四十一条、第四十二条)
第四节	匿名加工情報取扱事業者等の義務(第四十三条-第四十六条)
第五节	民間団体による個人情報の保護の推進(第四十七条-第五十六条)
第六节	雑則(第五十七条-第五十九条)

情報漏えいは市長か？副市長か？



# 一般質問



須田 勝

## 市民のしあわせが第一

### 自治会のあり方

**質問** 現在の市全体の世帯数と自治会加入件数、また自治会未加入世帯への行政サービスの対応は。

**市民環境部長** 市全体の世帯数は3万2716世帯で自治会加入世帯数は2万7633世帯です。自治会への加入未加入にかかわらず行政事務等を各地区自治会連合会と委託契約を結び実施しています。

**質問** 基本的な市と自治会のかかり方で、市における自治会の在り方と、市から自治会へ依頼している事項はどのようなことか。

**市民環境部長** 自治会と市は互いに自立した対等な立場のパートナーとして、より良い地域づくりに取り組んでいます。自治会へは、行政事務や各所属からの多種多様な業務を依頼しています。

**質問** 自治会の活動や事業に市職員が介入していると感じられることが多々あり、内政干渉とみるが、

**市民環境部長** 市自治会連合会と市が協働で作成した自治会マニュアルに従い実施していますので、

内政干渉には当たりません。

### 終活の介護施設支援

**質問** 各地区に介護施設が増えてきているが、介護認定を受けた市民が入所を希望しても無年金や少額年金者は経済的に入れない場合がある。入所への手当の考えは。

**高齢者安心課長** 低所得高齢者の施設入所については、介護支援専門員などの専門職が相談に応じます。その中で、さまざまな負担軽減制度がありますので、引き続きそちらを活用することで、対応してまいります。



少額年金者の入所支援を望む



田邊 寛治

## 外から見た渋川市と広報戦略

**質問** 市長が実践する公平、公正な政治とは。

**市長** 子どもを真ん中に、誰一人取り残さない共生社会の推進などを基本的な考えとして、公平公正な責任のある市政を行っています。

**質問** ハラスメント調査結果の報道について、議会がクローズアップされていたが。

**総合戦略部長** 社会的関心が高いと報道が判断し、議会ハラスメントを大きく取り上げたと思います。

**質問** 渋川市の個人情報漏えいに関し、個人情報保護法と市の個人情報保護条例について説明を。

**総務部長** 本年4月から個人情報の保護は、条例から法律に根拠規程が変わりましたが、その内容はおおむね同様となっています。

**質問** 教育施策から見た子どもたちの将来像とは。

**教育長** 国際的視野に立って共生社会をたくましく生きることができ力を身につけ、夢の実現に大きく羽ばたいてほしいと考えます。

**質問** 各種教育事業の成果は。

**教育部長** 英語教育充実事業を通して、英語への興味・関心・意欲が高まっています。また、ICTの有効活用も進んできています。

**質問** 不登校対策の概要や効果は。

**教育長** 子どもたちが困っているところに寄り添い、適切な支援を今後も行っていく予定です。

**質問** 教員のなり手不足の対応や、教育投資により育てた人材をまわすにつなげるには。

**教育長** ふるさと渋川を愛する子どもたちを育てるため、さまざまな教育事業を充実させていきます。



実施されたハラスメント研修